

2026年3月期 第3四半期

決算説明会

2026年2月10日



株式会社 東邦システムサイエンス

<https://www.tss.co.jp/>

証券コード：4333 東京証券取引所 プライム市場

目 次

1. 経営戦略トピックス

2. 2026年3月期 第3四半期決算

3. 2026年3月期 業績見通し

4. 参考資料

1. 経営戦略トピックス

2026/1/16株主総会にて、株式移転計画承認の決議

経営統合の方式等

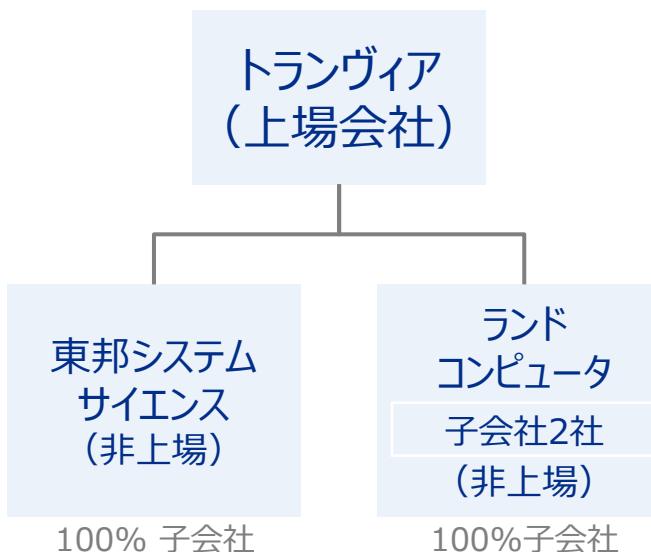
経営統合の方式

- 対等な精神に則り、東邦システムサイエンス及びランドコンピューターを株式移転完全子会社、新規に設立する共同持株会社（トランヴィア）を株式移転完全親会社とする共同株式移転

株式移転比率

- 東邦システムサイエンス : ランドコンピュータ = 1.27 : 1**
- 東邦システムサイエンス普通株式1株に対し、トランヴィア普通株式1.27株を交付
- ランドコンピューター普通株式1株に対し、トランヴィア普通株式1株を交付

経営統合後の資本関係（26/4/1～）



経営統合に向けたスケジュール（予定）

本経営統合契約書及び本株式移転計画承認取締役会（両社）	2025年11月13日
本経営統合契約書締結及び本株式移転計画作成（両社）	2025年11月13日
臨時株主総会基準日公告（両社）	2025年11月14日
臨時株主総会基準日（両社）	2025年11月28日
本株式移転計画承認臨時株主総会（両社）	2026年1月16日
上場廃止日（両社）	2026年3月30日（予定）
共同持株会社設立登記日（効力発生日）	2026年4月1日（予定）
共同持株会社株式新規上場日	2026年4月1日（予定）

本経営統合の背景と目的

外部・内部環境の変化とともに、求められる機能、役割の変化を背景に、各々の強みを組み合わせることで
Sier業界の新たな核を成す新会社としてバリューチェーン全体への価値向上を追求してまいります。



東邦生命保険相互会社
情報子会社(1971.6設立)

業務のTSS(強み)

- ①創業50年以上
- ②金融コア型経営（顧客基盤）
- ③戦略的互恵関係
- ④業務人財開発（育成・教育）



技術のR&D(強み)

- ①創業50年以上
- ②幅広い強固な顧客基盤
- ③長期的協力関係構築
- ④技術人財開発（育成・教育）



独立系システムインテグレータ
(1971.1設立)

シナジー発現

“社会課題解決プロデューサー”

①顧客基盤と事業ポートフォリオの拡充

②新規サービスの創出・プロジェクトの効率化

③人財・組織体制の強化

④コスト効率化と経営基盤の強化

背景

外部環境の変化

- システム・ソフトウェア刷新
- 東証ルール(次期TOPIX)
- サイバーセキュリティ
- ビジネスモデルの変革
- AIブーム（第4次）
- 競争激化

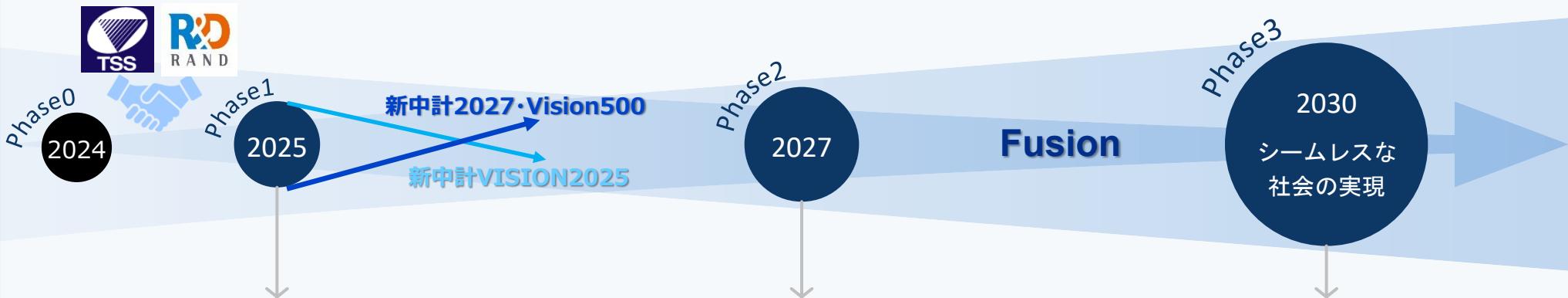
お客様

- DX推進（投資）加速
- ニーズの変化、多様化
- 規模拡大
- 生産効率化へのインセンティブ
- 社内体制の見直し
- 内製化の加速

中長期的な目標

シームレスな社会の実現に向け、事業シナジーによるポートフォリオの変革及び競争力の強化に注力

【経営目標（2031年3月期）】 売上高：500 億円



▶ 2025-2026

HOP（合流）：量的拡大

- ✓ 顧客ニーズの拡充
- ✓ 提案力及び競争力の強化（技術者増）
- ✓ ポートフォリオ変革（マーケット拡大）
- ✓ サービスビジネス領域の更なる拡大

事業規模拡大を見据えた積極投資

▶ 2026-2028

STEP（融合）：質向上

- ✓ DX推進対応力 更なる向上
- ✓ デジタルビジネスへの注力
- ✓ ストック収益の向上（業務×技術）
- ✓ コーポレート領域強化（仕組み化）

付加価値拡大による更なる収益増加

▶ 2028-2030

JUMP（発展）：独創性

- ✓ 顧客、業種、業態を超えた社会課題解決
- ✓ 高度な提案力（応用転化）
- ✓ 市場の共通及び個別ニーズの解析
- ✓ 新プラットフォームビジネスの確立

一体型の融和・融合プレゼンスの発揮

「TOHO + RAND + Via (道)」= Toranvia



3/2 上場承認予定日

株式会社トランヴィア (Toranvia) の上場承認予定日であり、TSS及びR&Dの両社は、3/30に上場廃止となる予定です。

3/19 TSS 進発式

株式会社トランヴィア (Toranvia) グループのスタートに向けたTSS全社進発式を行います。

4/1 Toranvia (トランヴィア) の設立

株式会社トランヴィア (Toranvia) における事業方針に加え、ミッション、ビジョン、バリュー (MVV) 、ロゴ説明及び株主還元施策方針等を公開いたします。

01

02

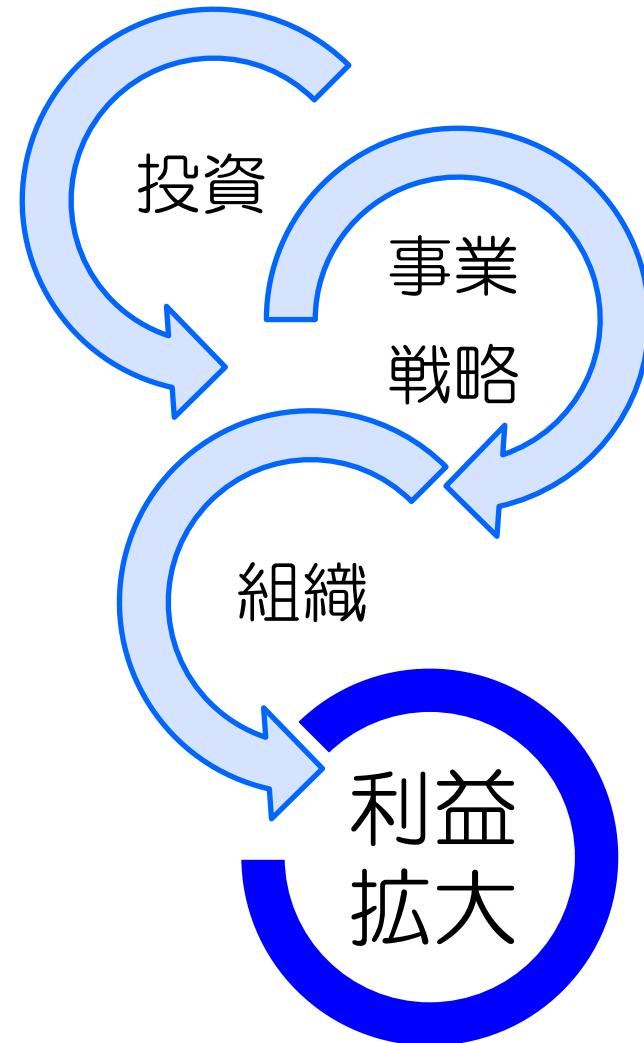
03

《目指す姿》 お客様とともに未来を創る 価値創造プロデューサー



2. 2026年3月期 第3四半期決算

【受注面】注力した取り組み事項



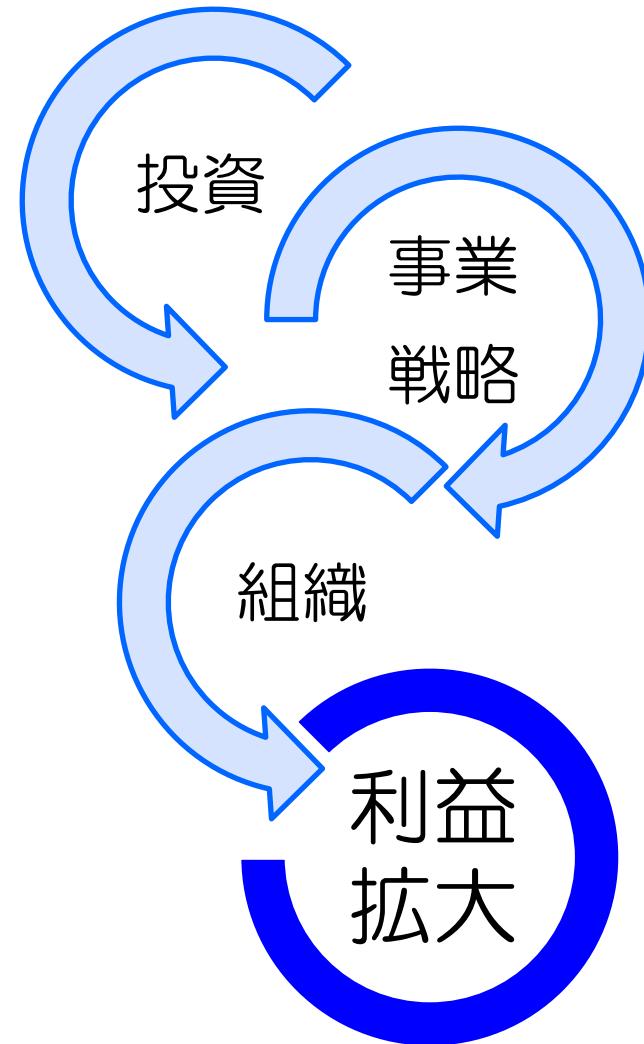
営業力の強化 (ISAツールの活用)

DX開発推進センターを活用した受注規模の拡大

DX案件の受注、拡大

統合、マイグレーション案件の拡大、新規受注

【生産面】注力した取り組み事項



人的リソースの有効活用（徹底した稼働管理）

若手社員の教育投資（DX技術資格、Java資格取得）

ビジネスパートナーの増強を図るためのパートナープール制度

マルチプロジェクトマネージャの育成

生成AIを活用した生産性向上

徹底したプロジェクト監視による品質向上

(単位：百万円)

	2025.3月期 第3四半期(累計)	2026.3月期 第3四半期(累計)	増減額	増減率(%)
売 上 高	13,105	13,305	199	1.5%
営 業 利 益 (営業利益率)	1,173 9.0%	1,262 9.5%	88	7.5%
経 常 利 益 (経常利益率)	1,185 9.0%	1,269 9.5%	84	7.1%
四 半 期 純 利 益	806	863	56	7.0%

セグメント別売上高

(単位：百万円)

セグメント	2025.3月期 第3四半期(累計)	2026.3月期 第3四半期(累計)	増減額	増減率(%)
ソフトウェア開発	12,838	13,052	213	1.7%
金融	9,334	9,171	△163	△1.8%
非金融	3,503	3,880	377	10.8%
情報システムサービス等	267	253	△14	△5.3%
合 計	13,105	13,305	199	1.5%

業種別売上高（ソフトウェア開発）

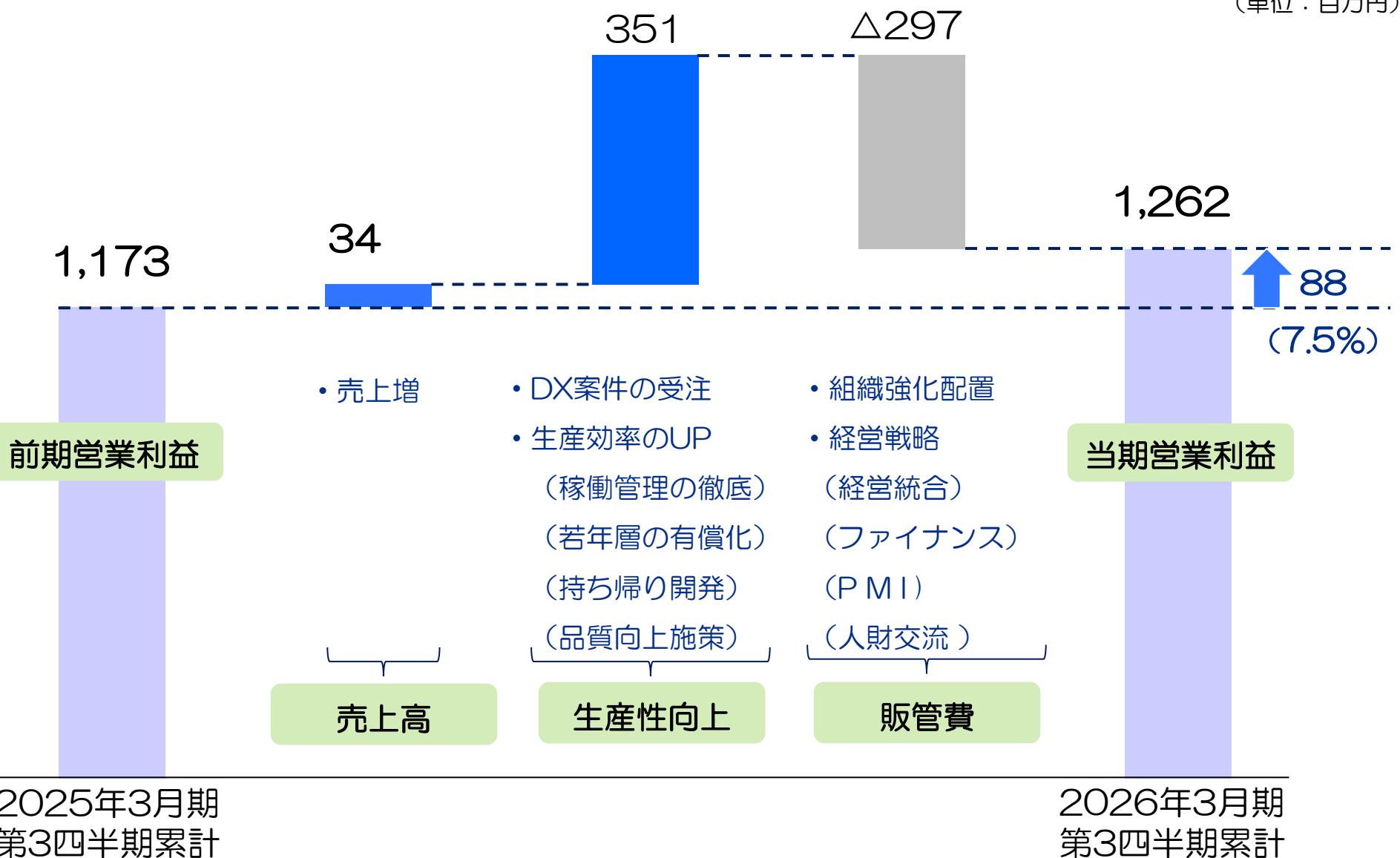
(単位：百万円)

業 種	2025.3月期 第3四半期(累計)	2026.3月期 第3四半期(累計)	増減額	増減率(%)
金融	9,334	9,171	△163	△1.8%
	銀行	2,265	2,132	△133 △5.9%
	証 券	925	935	9 1.0%
	生命 保険	1,972	1,522	△450 △22.8%
	損害 保険	3,067	3,357	290 9.5%
	その 他	1,103	1,224	120 10.9%
非金融	3,503	3,880	377	10.8%
	通 信	1,218	1,364	145 11.9%
	その 他	2,285	2,516	231 10.1%

業種別売上分析(ソフトウェア開発)

セグメント	業種	売上高増減要因
金融	銀行	(ー) ネットバンキング案件の収束
	証券	(+) NISAシステム更改案件の拡大
	生命保険	(--) ネット生命保険会社向け基幹システムの縮小
	損害保険	(++) 大型マイグレーション案件の受注
	その他	(+) リース会社向けのパッケージ活用案件拡大 ファイナンス会社向けのシステム更改案件拡大
非金融	通信	(+) データ活用基盤構築案件の拡大
	その他	(++) 公務、情報サービス等でDX案件の拡大

(単位：百万円)

2025年3月期
第3四半期累計2026年3月期
第3四半期累計

3. 2026年3月期 業績見通し

業種別 受注残高(ソフトウェア開発)

(単位：百万円)

業種		2025.3月期 第3四半期末	2026.3月期 第3四半期末	増減額	増減率
金融	銀行	478	383	△94	△19.8%
	証券	177	196	18	10.5%
	生命保険	321	332	10	3.4%
	損害保険	542	970	427	78.8%
	その他	300	305	4	1.5%
非金融	通信	266	316	50	19.0%
	その他	401	457	56	14.0%
合 計		2,488	2,962	473	19.0%



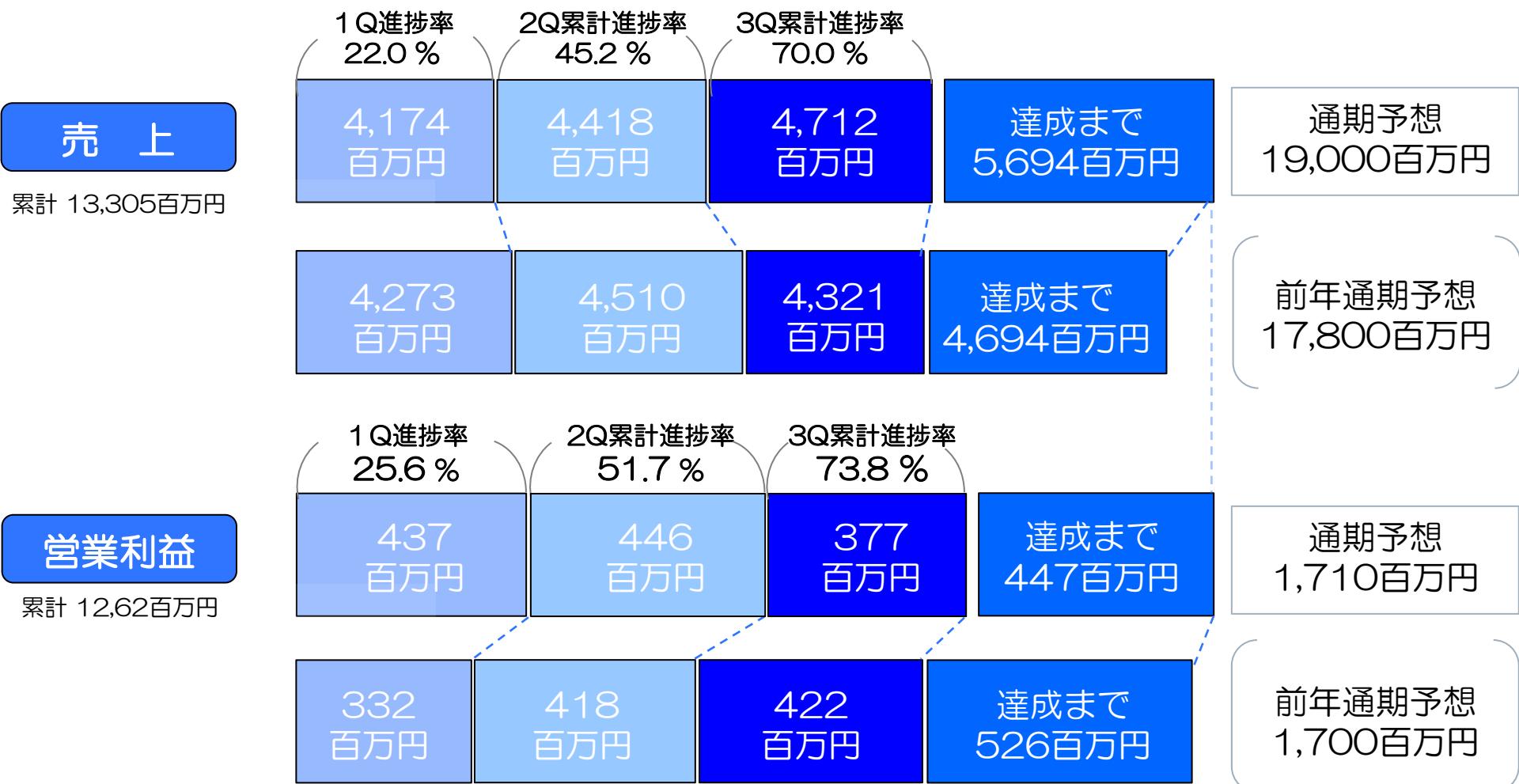
2026年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2025.3月期 実績	2026.3月期 予想	増減額	増減率(%)
売 上 高	17,342	19,000	1,657	9.6%
営 業 利 益 (営業利益率)	1,658 9.6%	1,710 9.0%	51	3.1%
経 常 利 益 (経常利益率)	1,627 9.4%	1,720 9.1%	92	5.7%
当 期 純 利 益	1,194	1,195	0	0.0%

2026年3月期 通期業績予想(進捗)

売上、営業利益とともに、Q単位に右肩上がりで推移



4. 參考資料



貸借対照表

(単位：百万円)

前事業年度
(2025年3月31日)

当第3四半期会計期間
(2025年12月31日)

資産の部		
流動資産	11,420	11,331
固定資産	1,554	1,611
資産合計	12,975	12,942
負債の部		
流動負債	2,021	1,756
固定負債	2,132	2,159
負債合計	4,154	3,915
純資産の部		
株主資本	8,474	8,582
評価・換算差額等	346	443
純資産合計	8,820	9,026
負債純資産合計	12,975	12,942

最適なシステムソリューションを 提供する高信頼企業！

皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、
よろしくお願ひ申し上げます。

*本資料についてのご注意

本資料は、2026年3月期第3四半期の業績および今後の業績見通しに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている株式会社東邦システムサイエンスの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。